

「県民暮らしのアンケート調査」

(平成 25 年 8 月実施)

香川県民の暮らし向きや消費の実態・意識を把握するために、「県民暮らしのアンケート調査」を実施した（消費税率の引き上げ等の意識調査も併せて実施）。

調査結果の概要

- ・現在の暮らし向きについて、1年前と比べて、9.3%の人が「(やや)良くなった」と回答し、逆に27.6%の人が「(やや)悪くなった」と回答した。
- ・今後1年間の暮らし向きについて、7.0%の人が「(やや)良くなる」と予想し、逆に34.1%の人が「(やや)悪くなる」と予想している。
- ・今後1年間の収入について、8.5%の人が「(やや)増える」と予想し、逆に39.9%の人が「(やや)減る」と予想している。
- ・今年の夏のボーナスの使い道について、4割の人が「預貯金」の金額を増やすと回答した。
- ・来年4月の消費税率の引き上げについて、2割が納得、8割が不満と回答。不満の理由としては、5割が「消費税率を引き上げたぶん、家計の収入が増えないから」と回答した。
- ・1年後の県内景気について、9.4%の人が現在と比べて「(やや)良くなる」と予想し、逆に24.1%の人が「(やや)悪くなる」と予想している。
- ・1年後の物価について、63.5%の人が現在と比べて「(やや)上がる」と予想している。
- ・1年後の消費行動（お金の使い方）について、52.9%の人が現在と比べて「節約」をしていると回答した。

アンケート調査要領

1. 調査期間 平成25年8月22日～26日
2. 調査対象 香川県内在住の20歳以上の男女
3. 調査方法 インターネット調査（調査会社の登録モニターによる回答）
4. 有効回答数 629人
5. 回答者の構成・属性

年代別回答者数

	計		男		女	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20代	79	12.6%	38	6.0%	41	6.5%
30代	142	22.6%	68	10.8%	74	11.8%
40代	143	22.7%	71	11.3%	72	11.4%
50代	139	22.1%	70	11.1%	69	11.0%
60代以上	126	20.0%	63	10.0%	63	10.0%
合計	629	100.0%	310	49.3%	319	50.7%

職業

	人数	構成比
会社員	213	33.9%
公務員	42	6.7%
自営業	66	10.5%
その他	308	49.0%
合計	629	100.0%

未婚の別

	人数	構成比
合計	629	100.0%
うち既婚	429	68.2%

住宅の種類

	人数	構成比
持家（一戸建て）	410	65.2%
持家（マンション等）	78	12.4%
社宅	17	2.7%
借家	124	19.7%
合計	629	100.0%

世帯主の職業

	人数	構成比
会社員	311	49.4%
公務員	56	8.9%
自営業	84	13.4%
その他	178	28.3%
合計	629	100.0%

世帯の年収

	人数	構成比
300万円未満	108	17.2%
300～500万円未満	173	27.5%
500～700万円未満	128	20.3%
700～1000万円未満	96	15.3%
1000万円以上	42	6.7%
答えたくない・わからない	82	13.0%
合計	629	100.0%

世帯の人員

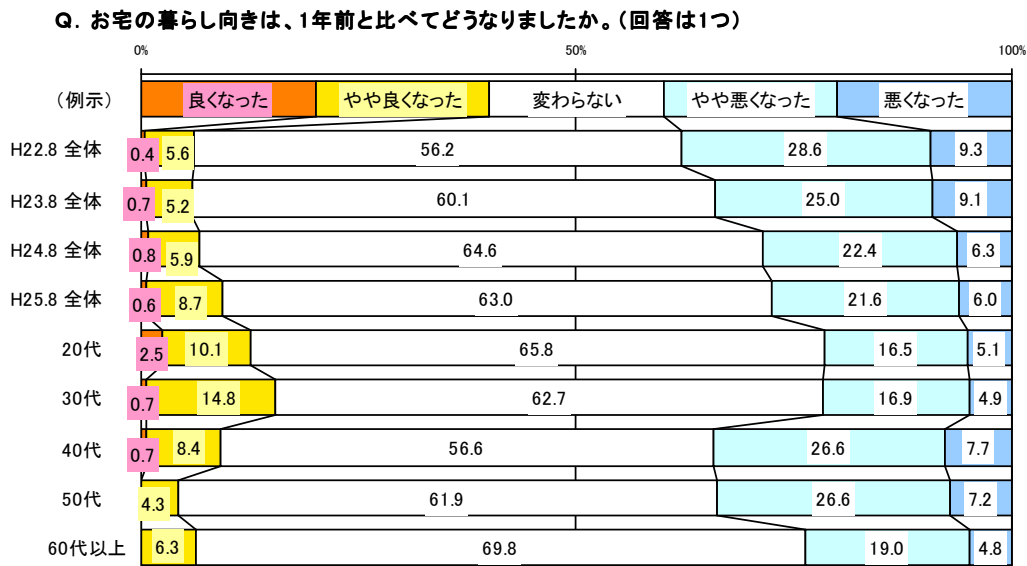
	人数	構成比
1人	62	9.9%
2人	168	26.7%
3人	176	28.0%
4人	151	24.0%
5人	48	7.6%
6人	17	2.7%
7人	7	1.1%
合計	629	100.0%

(注)四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。

A. 「暮らし向き」について

1. 現在の暮らし向き（1年前と比べて） ～ 9.3%の人が「(やや)良くなった」と回答 ～

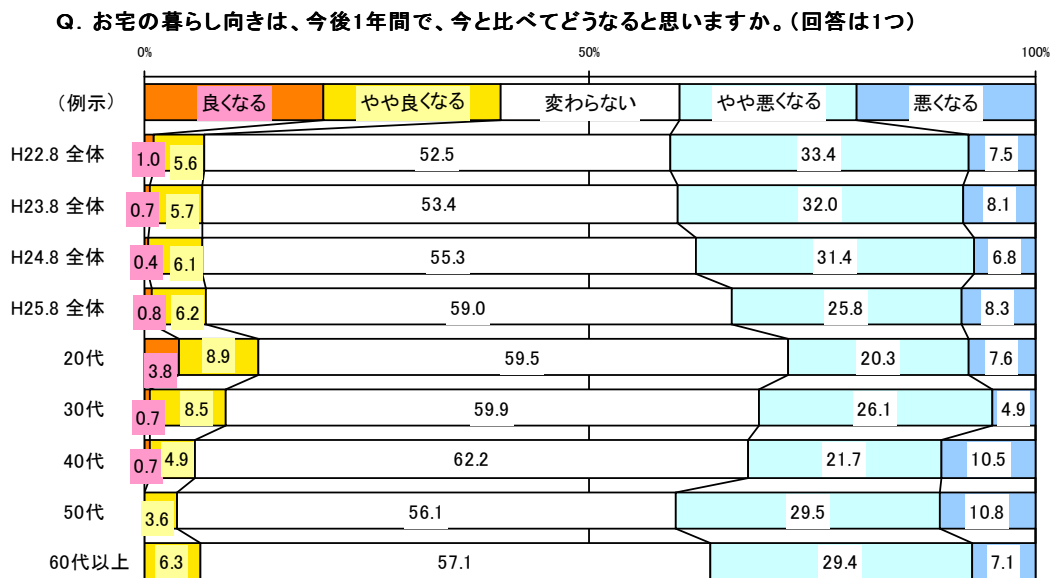
現在の暮らし向きについて1年前と比べて「良くなった(0.6%)」、「やや良くなった(8.7%)」と回答した人の割合は合計で9.3%であった。一方、「悪くなった(6.0%)」、「やや悪くなった(21.6%)」と回答した人の合計は27.6%であった。



(注) 1.四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。
2.H22.8～H24.8は過去実施した調査の結果である。

2. 今後1年間の暮らし向き ～ 7.0%の人が「(やや)良くなる」と予想 ～

今後1年間の暮らし向きについて「良くなる(0.8%)」、「やや良くなる(6.2%)」と回答した人の割合は、合計で7.0%であった。一方、「悪くなる(8.3%)」、「やや悪くなる(25.8%)」と回答した人の合計は34.1%であった。

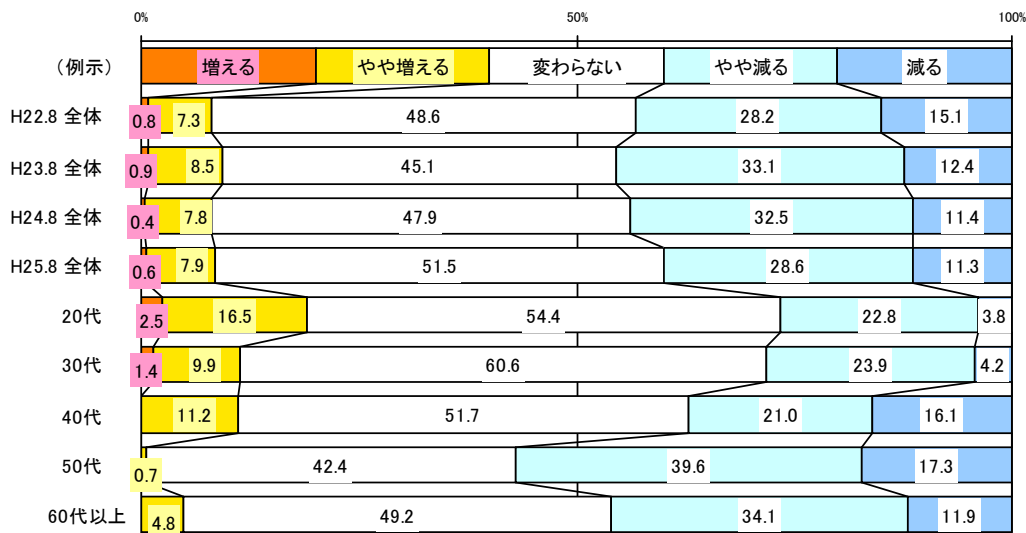


(注) 1.四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。
2.H22.8～H24.8は過去実施した調査の結果である。

3. 今後1年間の収入 ～ 8.5%の人が「(やや)増える」と予想 ～

今後1年間の収入について、「増える(0.6%)」、「やや増える(7.9%)」と予想した人の割合は、合計で8.5%であった。一方、「減る(11.3%)」、「やや減る(28.6%)」と予想した人の合計は39.9%であった。

Q. お宅の収入は、今後1年間で、今と比べてどうなると思いますか。(回答は1つ)

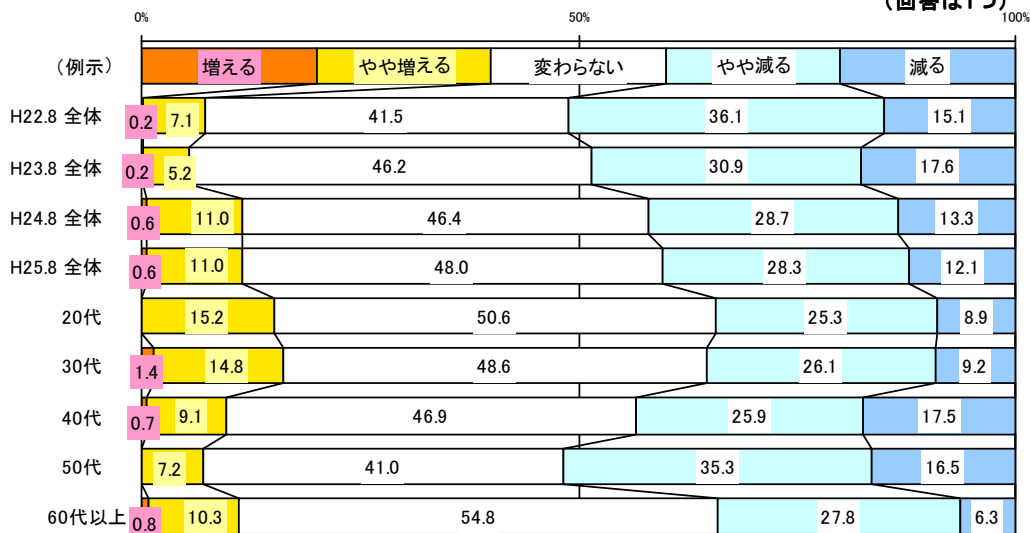


(注) 1.四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。
2.H22.8～H24.8は過去実施した調査の結果である。

4. 今後の趣味・レジャーに費やす時間や支出 ～ 11.6%の人が「(やや)増える」と予想 ～

今後の趣味・レジャーに費やす時間や支出について、「増える(0.6%)」、「やや増える(11.0%)」と予想した人の割合は、合計で11.6%であった。一方、「減る(12.1%)」、「やや減る(28.3%)」と予想した人の合計は40.4%であった。

Q. お宅で趣味・レジャーに費やす時間や支出は、今後1年間で、今と比べてどうなると思いますか。(回答は1つ)



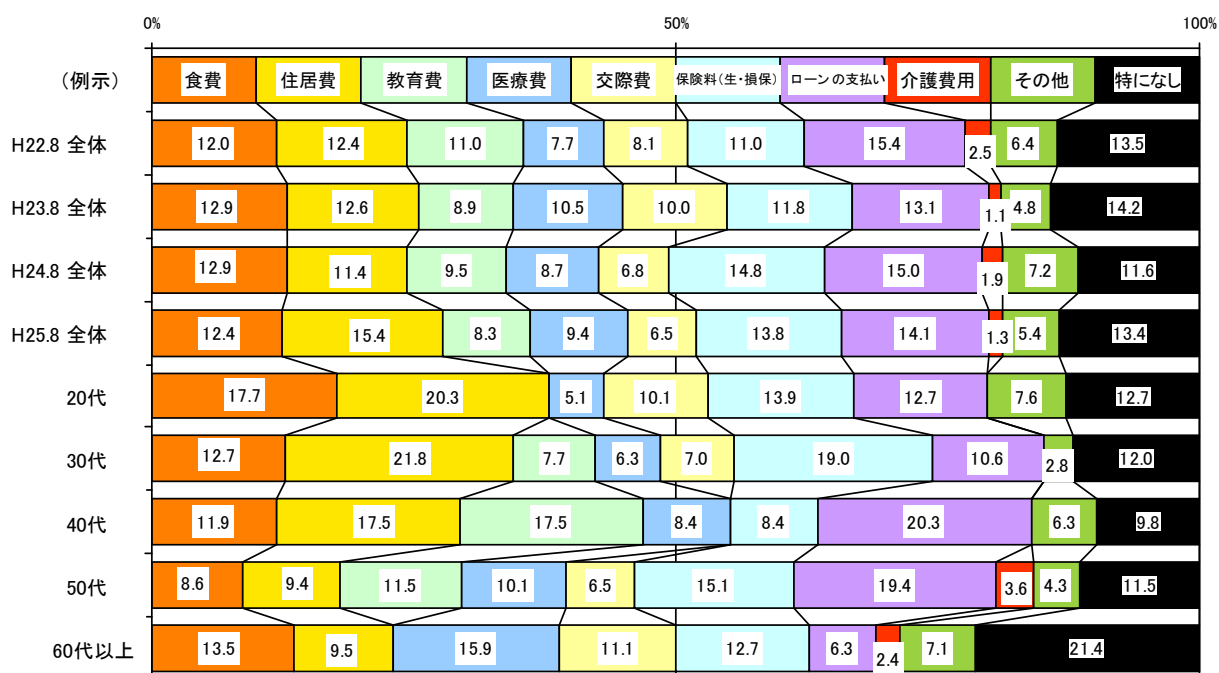
(注) 1.四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。
2.H22.8～H24.8は過去実施した調査の結果である。

5. 最も負担に感じている支出

現在、「最も負担に感じている支出項目」を尋ねたところ、回答割合が最も高かったのは「住居費」で15.4%、次いで「ローンの支払い」の14.1%、「保険料（生・損保）」の13.8%であった。年代別に上位3位までを列挙すると、次のようにライフステージごとの特徴が表れている。

- 20代…… ①「住居費」（20.3%）②「食費」（17.7%）③「保険料（生・損保）」（13.9%）
- 30代…… ①「住居費」（21.8%）②「保険料（生・損保）」（19.0%）③「食費」（12.7%）
- 40代…… ①「ローンの支払い」（20.3%）②「住居費」「教育費」（17.5%）
- 50代…… ①「ローンの支払い」（19.4%）②「保険料（生・損保）」（15.1%）③「教育費」（11.5%）
- 60代以上… ①「医療費」（15.9%）②「食費」（13.5%）③「保険料（生・損保）」（12.7%）

Q. 暮らしの中で、今、最も負担に感じている支出は何ですか。（回答は1つ）



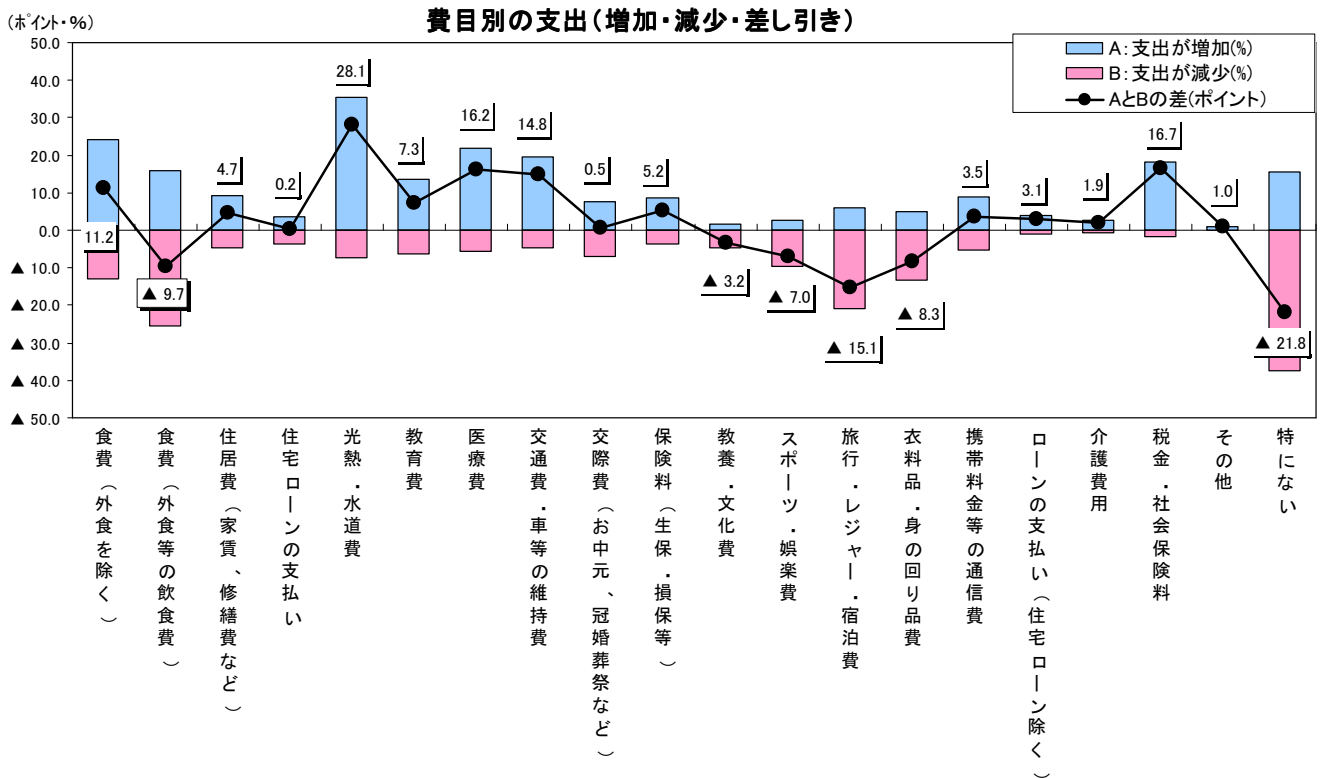
(注) 1. 四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。
2. H22.8～H24.8は過去実施した調査の結果である。

6. 支出が増加した費目・減少した費目

この1年間の支出で「増加した費目」と「減少した費目」について尋ね、各費目を選んだ人の割合を「増加」、「減少」、「増減の差」としてグラフにしたものが次の図である（3つまでの複数回答）。

グラフで費目別に増減の差をみると、支出が増加した費目では「光熱・水道費」が最も高く28.1ポイント、次いで「税金・社会保険料」の16.7ポイント、「医療費」の16.2ポイントとなっている。

一方、支出が減少した費目では「旅行・レジャー・宿泊費」が最もマイナスとなり、マイナス15.1ポイント、次いで「食費（外食等の飲食費）」のマイナス9.7ポイント、「衣料品・身の回り品費」のマイナス8.3ポイントとなっている。

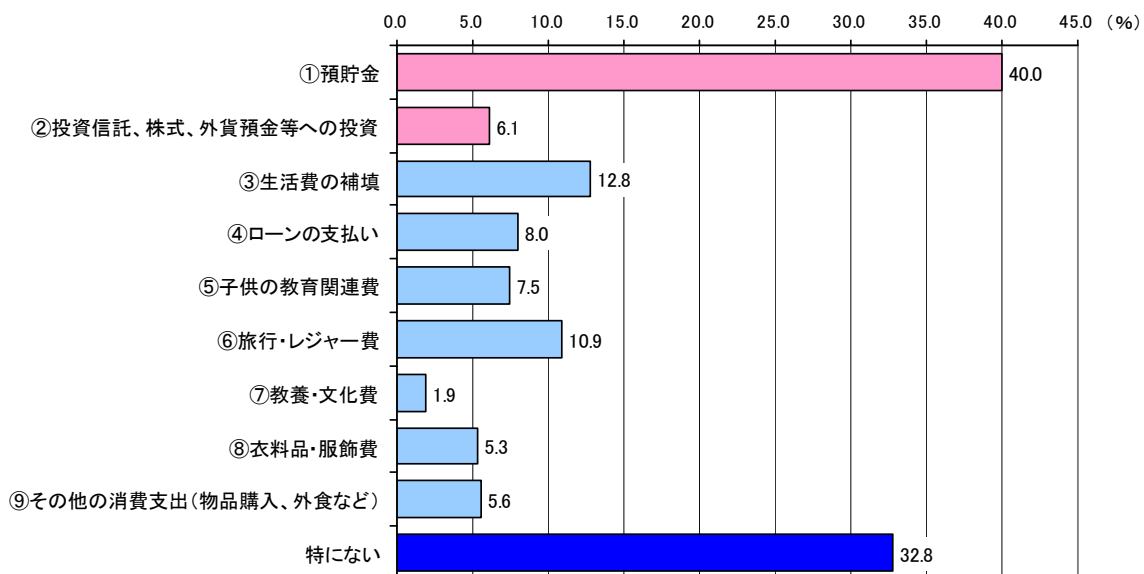


7. 今年の夏のボーナスの使い道 ~ 4割の人が預貯金を増やすと回答 ~

今年の夏のボーナスの使い道について、昨年(又は例年)と比べて、金額を増やしたもの(又は増やそうと思うもの)を尋ねたところ、「預貯金」が最も回答割合が高く40.0%であった。預貯金同様に将来の備えとなる「投資信託、株式、外貨預金等への投資」は6.1%であった。

その他、回答割合が高かったものは、「生活費の補填」の12.8%、「旅行・レジャー費」の10.9%、「ローンの支払い」の8.0%、「子供の教育関連費」の7.5%であった。

Q. 今年の夏のボーナスの使い道で、昨年(又は例年)と比べて、金額を増やしたもの(増やそうと思うもの)は何ですか。(複数回答可)



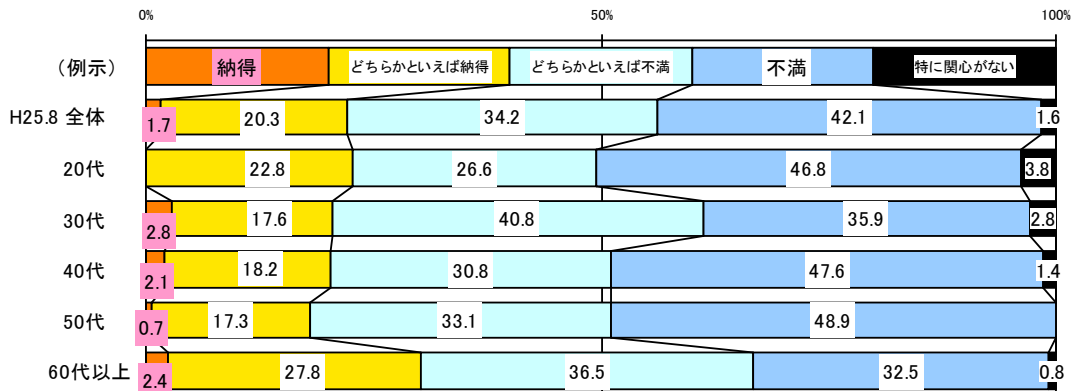
(注) 調査対象は、ボーナス支給があった家計のみ。

B. 「消費増税」について

1. 来年4月の「消費税率引き上げ」について ～ 納得2割、不満8割 ～

来年の平成26年4月に消費税率を引き上げることにについて尋ねたところ、「納得(1.7%)」、「どちらかといえば納得(20.3%)」と回答した人の割合は合計で22.0%であった。一方、「不満(42.1%)」、「どちらかといえば不満(34.2%)」と回答した人の合計は76.3%であった。年代別にみると、「(どちらかといえば)納得」と回答した人の割合が60歳代以上で30.2%と最も高くなっている。

Q. 来年の平成26年4月に消費税率が引き上げられる予定ですがどう思いますか。(回答は1つ)

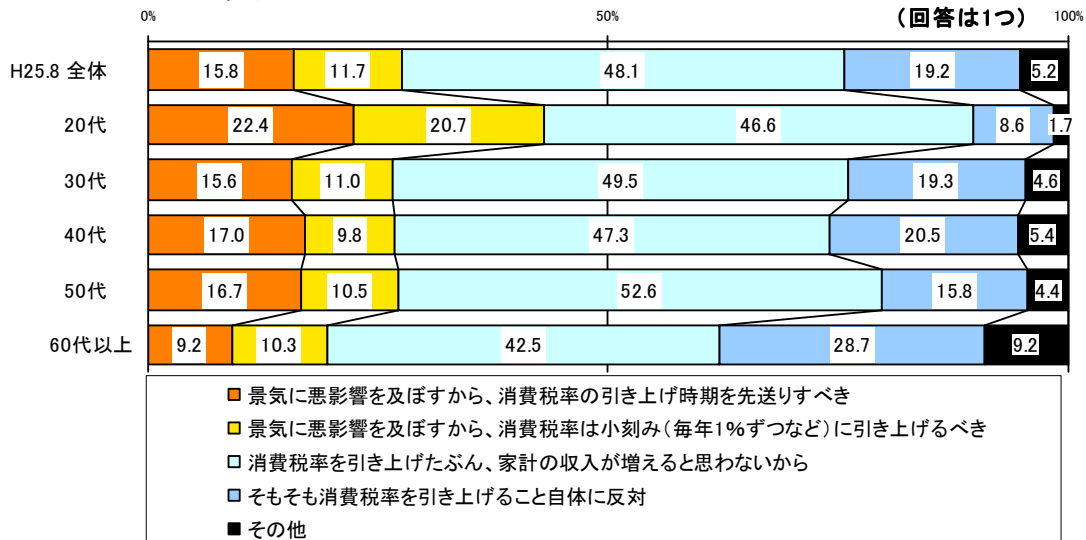


(注) 四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。

2. 不満の理由 ～ 「収入が増えると思わないから」が5割 ～

来年4月に消費税率を引き上げることに「(どちらかといえば)不満」の理由を尋ねたところ、「消費税率を引き上げたぶん、家計の収入が増えると思わないから」が最も回答割合が高く48.1%、次いで、「そもそも消費税率を引き上げること自体に反対」が19.2%、「景気に悪影響を及ぼすから、消費税率の引き上げ時期を先送りすべき」が15.8%、「景気に悪影響を及ぼすから、消費税率は小刻み(毎年1%ずつなど)に引き上げるべき」が11.7%であった。

Q. 来年4月に消費税率を引き上げることに、(どちらかといえば)不満の理由は何ですか。(回答は1つ)



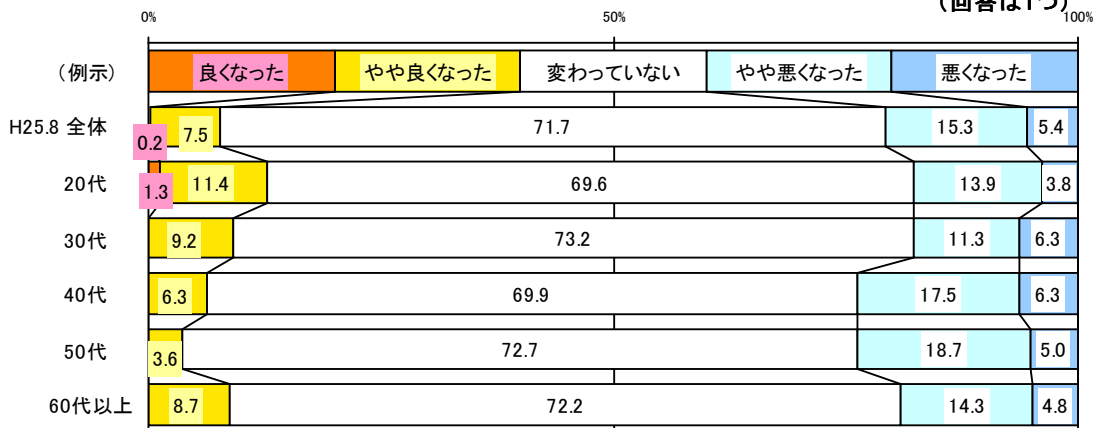
(注) 四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。

C. 香川県内の景気について

1. 県内の景気（1年前と比べて） ～ 7.7%の人が「(やや)良くなった」と回答～

香川県内の景気について尋ねたところ、1年前と比べて「良くなった(0.2%)」、「やや良くなった(7.5%)」と回答した人の割合は合計で7.7%であった。一方、「悪くなった(5.4%)」、「やや悪くなった(15.3%)」と回答した人の割合は合計で20.7%であった。年代別にみると、「(やや)良くなった」と回答した人の割合が最も高かったのは20歳代で12.7%、一方、「(やや)悪くなった」と回答した人の割合が最も高かったのは40歳代で23.8%であった。

Q. 1年前と比べて、現在の香川県内の景気は、良くなったと思いますか。悪くなったと思いますか。
(回答は1つ)



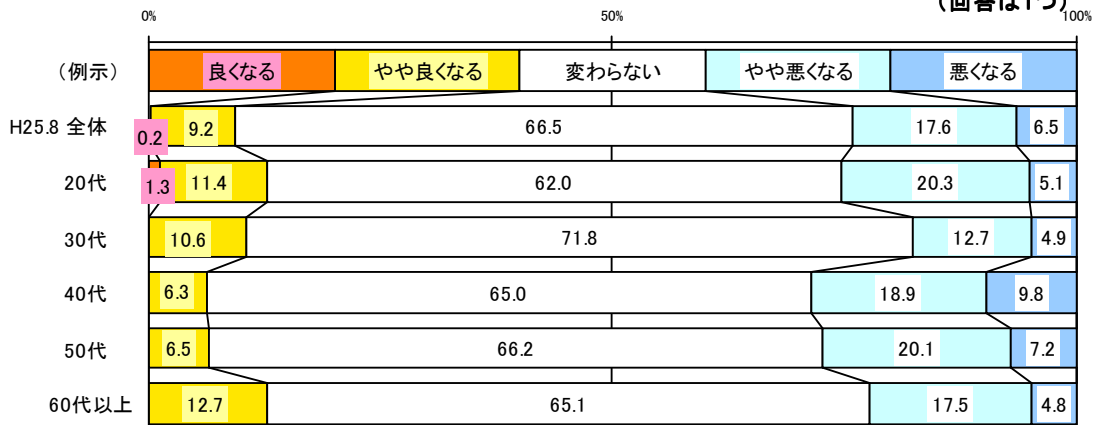
(注) 四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。

2. 1年後の県内の景気 ～ 9.4%の人が「(やや)良くなる」と予想～

香川県内の1年後の景気について尋ねたところ、現在と比べて「良くなる(0.2%)」、「やや良くなる(9.2%)」と予想した人の割合は合計で9.4%であった。一方、「悪くなる(6.5%)」、「やや悪くなる(17.6%)」と予想した人の割合は合計で24.1%であった。年代別にみると、「(やや)良くなる」と予想した人の割合が最も高かったのは20歳代で12.7%、一方、「(やや)悪くなる」と予想した人の割合が最も高かったのは40歳代で28.7%であった。

Q. 1年後の香川県内の景気は、現在と比べて、良くなると思いますか。悪くなると思いますか。

(回答は1つ)



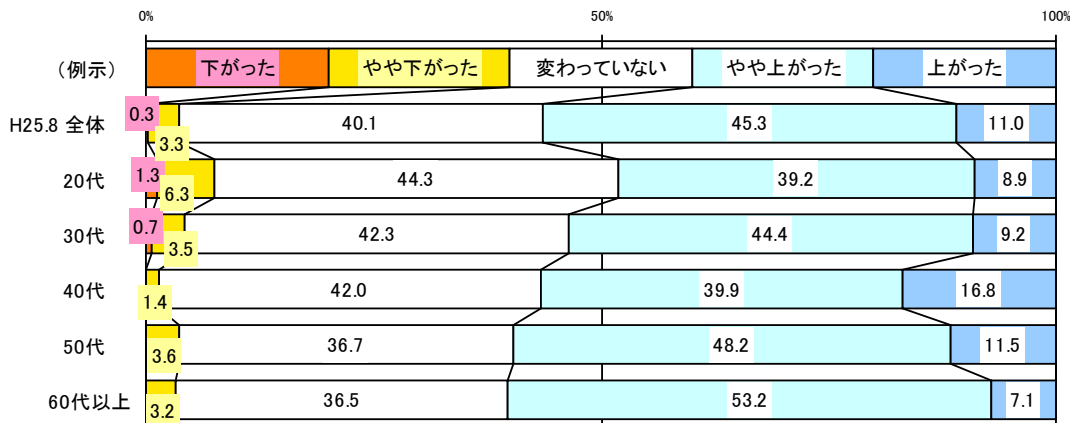
(注) 四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。

D. 物価について

1. 物価（1年前に比べて） ～ 56.3%の人が「(やや)上がった」と回答 ～

消費者物価について尋ねたところ、1年前と比べて「下がった(0.3%)」、「やや下がった(3.3%)」と感じている人の割合は合計で3.6%であった。一方、「上がった(11.0%)」、「やや上がった(45.3%)」と感じている人の割合は合計で56.3%であった。年代別にみると、「(やや)下がった」と感じている人の割合が最も高かったのは20歳代で7.6%、一方、「(やや)上がった」と感じている人の割合が最も高かったのは60歳代以上で60.3%であった。

Q. 1年前と比べて、物価は下がったと感じますか、上がったと感じますか。(回答は1つ)

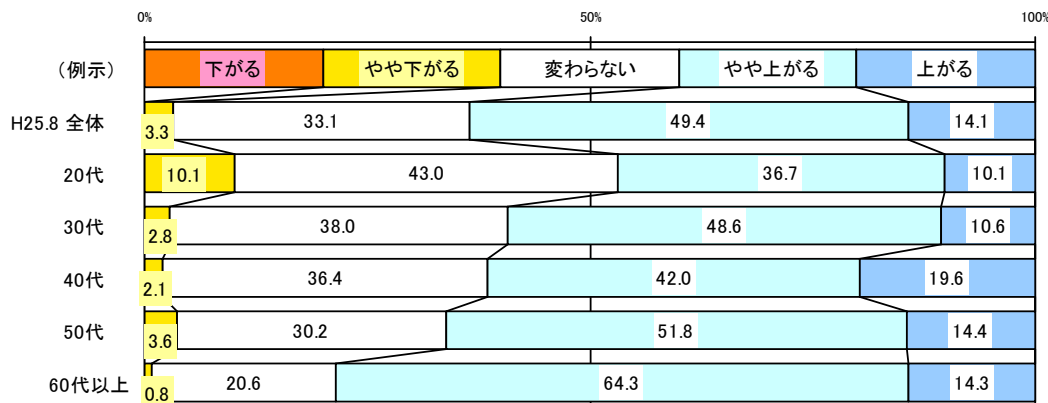


(注)四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。

2. 1年後の物価 ～ 63.5%の人が「(やや)上がる」と予想 ～

1年後の消費者物価について尋ねたところ、現在と比べて「下がる(0.0%)」、「やや下がる(3.3%)」と予想した人の割合は合計で3.3%であった。一方、「上がる(14.1%)」、「やや上がる(49.4%)」と予想した人の割合は合計で63.5%であった。年代別にみると、「(やや)下がる」と予想した人の割合が最も高かったのは20歳代で10.1%、一方、「(やや)上がる」と予想している人の割合が最も高かったのは60歳代以上で78.6%であった。

Q. 1年後の物価は、現在と比べて下がると思いますか、上がると思いますか。(回答は1つ)

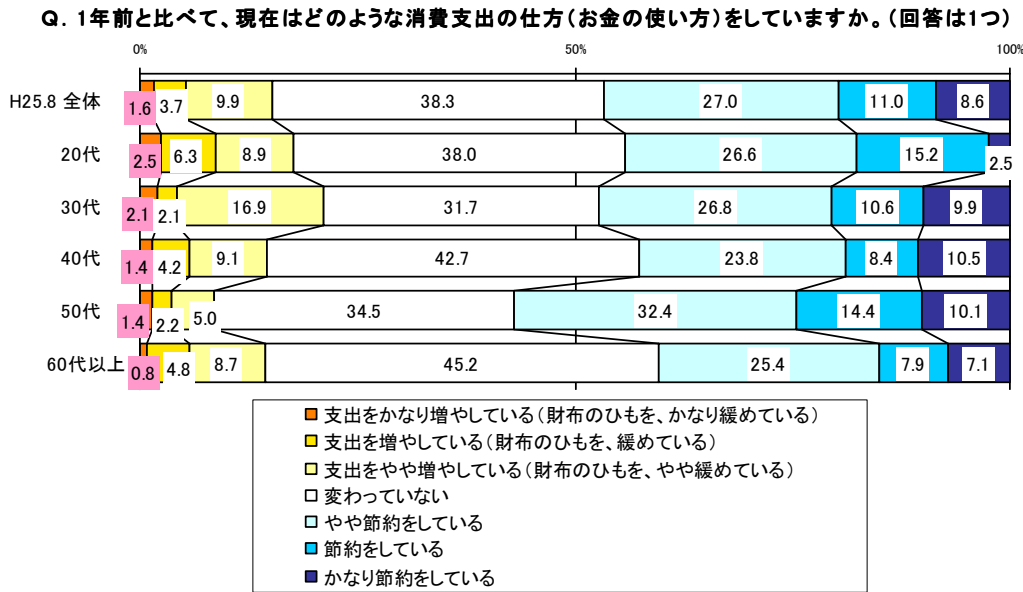


(注)四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。

E. 消費行動について

1. 現在の消費行動（1年前に比べて） ～ 46.6%の人が「節約」をしていると回答 ～

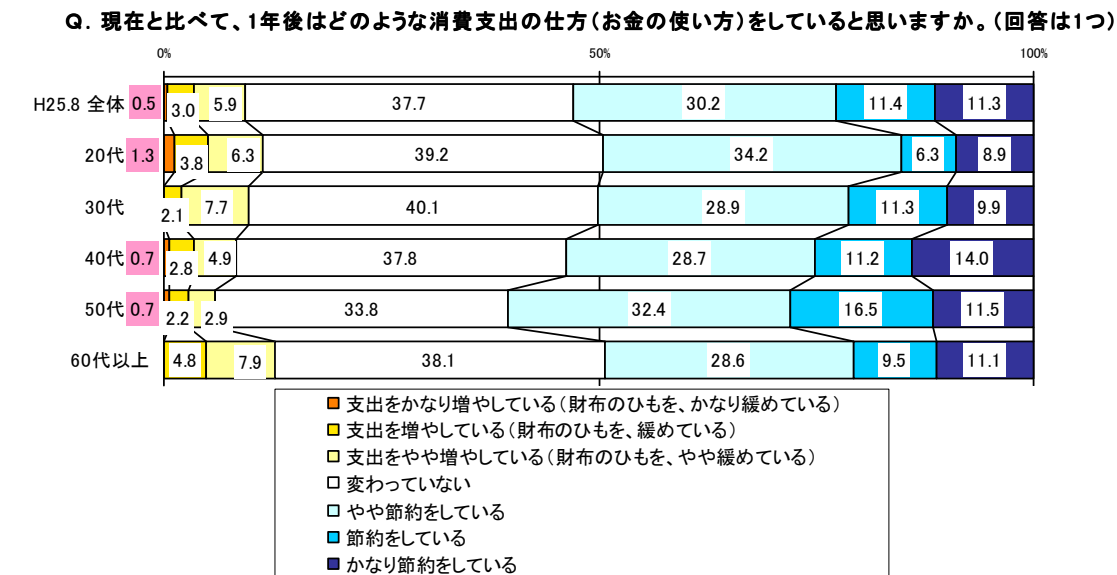
現在の消費支出の仕方（お金の使い方）について尋ねたところ、1年前と比べて消費支出を増やしている人、いわゆる「財布のひも」を、「かなり緩めている（1.6%）」、「緩めている（3.7%）」、「やや緩めている（9.9%）」と回答した人の割合は合計で15.2%であった。一方、「かなり節約をしている（8.6%）」、「節約をしている（11.0%）」、「やや節約をしている（27.0%）」の回答割合は合計で46.6%であった。



(注) 四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。

2. 1年後の消費行動 ～ 52.9%の人が「節約」をしていると予想 ～

1年後の消費支出の仕方（お金の使い方）について尋ねたところ、現在と比べて「財布のひも」を、「かなり緩めている（0.5%）」、「緩めている（3.0%）」、「やや緩めている（5.9%）」と予想した人の割合は合計で9.4%であった。一方、「かなり節約をしている（11.3%）」、「節約をしている（11.4%）」、「やや節約をしている（30.2%）」の回答割合は合計で52.9%であった。



(注) 四捨五入の関係で、内訳と合計が必ずしも一致しない。